

1 自ら考え、自ら学ぶ 生徒を育てる

社会が直面している課題を解決するには、それらを「自分事」としてとらえ、自分からかかわろうとする姿勢が大事です。そのためにはやらされる学習ではなく自ら学ぼうとする意欲が必要なのです。今自分がどのような課題を抱え、どのように解決していくかを自ら考え、解決しようとする主体性のある生徒を育てます。



進路ガイダンスで大学の学問についてのグループディスカッション



3 勉強だけでなく、部活にも全力 文武両道

部活では全国大会出場、勉強では有名大学に進学



福島東稜高校は「文武両道」を目指し部活動への参加を推奨しています。「高校時代の思い出は？」と聞くと「部活動で頑張ったこと」と答える先輩がとても多いのが特徴です。部活動で頑張れるからこそ勉強でも頑張れるのです。人生一度きりの青春時代を同じ目標を持った仲間たちと共有しませんか？運動部・文化部問わず入部大歓迎です。



新潟大学工学部3年
佐藤 祥太 さん
普通科スポーツ健康コース
2021年度卒業
卓球部OB
(長井南中学校卒業)



順天堂大学スポーツ健康科学部2年
浅沼 早英 さん
普通科スポーツ健康コース
2022年度卒業
女子バスケットボール部OG
(湊中学校卒業)



福島東稜高校の 5つの学び

福島東稜高校はこれからの新しい時代をたくの育成を目指しています。そして地域社会に貢献を持った人間力の向上を図るため5つの学

ましく生きる力、21世紀型学力
献できるように知識と豊かな
びを実践していきます。



4 多様性を尊重する 教育



ナイジェリアからの留学生や外国籍の生徒たち

グローバル社会においては国籍を問わずいろいろな価値観を持った人と出会い共生していくことが求められます。多様性を認めお互いを尊重しあい、協働して取り組むことのできる教育を目指します。

2 地域、大学、社会との つながりを持った教育

地元企業と提携しての商品開発や販売実習、食品コンテストへの応募、小学校や保育所での出前授業などを通して企画力や表現力、プレゼンテーション能力の向上を目指します。また大学や専門学校との連携授業により、大学教員や大学生

と一緒に取り組むことで、専門的で実践的な学びができます。さらに部活動においても地域貢献への取り組みを行うことにより地域と密着した開かれた学校づくりを目指していきます。



(株)いちいでの販売実習



JAFドレミぐるーぷ交通安全教室

5 好きなことを 仕事や進路につなげる



食物文化科卒業後進学、その後、栄養士として活躍する卒業生

福島東稜高校は3つの学科があり、1年次から専門的な学びを行っています。将来の夢が決まっている人はもちろん、決まっていなくても高校生活で自分の「好き」とことごと追求し、もっと広げて未来を切り開いていきましょう。わたしたちはあなたの「好き」を応援します。

